

翌 檜 新 聞



志 寔 録

第1号
2019.1.2.20
第74代
伊敷中生徒会



輝け！令和の初舞台

FACE

今回のFACEは、「翌檜新聞」を中心になって作った第73代広報部長の安藤総悟さんと会長の亀田周杜さんです。73代の翌檜新聞は南日本新聞コンクールで二席になりました。翌檜新聞作成での工夫したことや大変だったことをインタビューしてみました。



第74回文化祭

11月1日（金）に第73回

文化祭が行われました。今年のスローガンは、「輝け！令和の初舞台」つなごう伊敷の一ページ」でした。

最後の文化祭精一杯表現する三年生



大島組に込められた思いを演じる一年生

スローガンの通り伊敷中生全員が主役となって輝き、一人一人の心のページに一生残る文化祭になったのではないだろうか。各学年の劇はもちろん、合唱や弁論、展示作品などどれも人の心を動かし感動するものばかりでした。三年生は最後の文化祭。思い出に残るものになったのではないのでしょうか。



戦時中の人々の心の葛藤を表現する三年生

演じることの難しさ
一年五組 永井陵くん
台詞に動きを入れることが難しかったのでアドバイスをもらって協力した。先輩たちの劇を見て来年もみんな協力して頑張りたいと思った。
伝えたいことが伝わるように
二年二組 向井乃子さん
伝えたいことが伝わるように、訴えるような話し方にしたし声や間を工夫したりすることを意識した。他学年の劇は、伝えたい思いや願いであふれていたのですごくいいと思った。来年はさらに

安藤総悟さん
Q1 一番印象に残っている記事
A1 どの記事も印象に残っているが、一人で表面を書いた「研究公開」の記事が一番です。
Q2 大変だったこと
A2 国語が苦手なので文章を書くことが大変でした。
Q3 後期頑張りたいこと
A3 後期は学級の広報班班長になりました。新聞を通して学

級の雰囲気を感じ上げていきたいです。
亀田周杜さん
Q1 一席をとった感想は
A1 素直にうれしい。日頃から頑張ってきたよかったです。
Q2 翌檜新聞で頑張ったこと
A2 生徒会の窓では、日常生活に関連した記事を書くことを心掛けていたので、日々の生活での出来事を意識していました。

74代翌檜新聞に一言
Q3 自分から積極的に記事を書いてコンセプトに合った新聞にしてください。読むのを楽しみにしています。
二人にインタビューをして翌檜新聞に対する思いが伝わってきました。74代も73代に負けなように一年間記事を書いていこうと思うので、ご愛読よろし



翌檜新聞が二席を受賞し、取材を受ける様子

（東 遼太郎）

「想像して創造する」。みんなが過ぎてしやすい空間を作るためには必要なのは「想像する力」。「こんなことを言われたらどう思うだろう。こんなことを言えば相手は喜んでくれるだろう。」と相手のことを想像する力をもつ人が増えれば、みんなが過ぎてしやすい学校を創造することができると思うのです。「想像力」と「創造力」。日常生活の中でこの二つの力が発揮できているかをみんなで意識しながら、みんなに愛される伊敷中を創っていきましょう。（中島知希）

生徒会の窓

第74代生徒会スローガンは「We Love 伊敷」想像して創造する」です。引継式のソシオドラマでも表現しよう、このスローガンは私たちが生徒会役員の思いが込められています。みなさんは伊敷中のことが好きですか。僕は、伊敷中学校が大好きです。この大好きな伊敷中学校がみんなに愛される学校になってほしいと思っています。そして、伊敷中生みんなが伊敷中学校を大好きになってほしいと思っています。そんな思いを込めて考えたのが、「We Love 伊敷」。みんなが大好きになってほしいから「I Love 伊敷」ではなく、「We Love 伊敷」です。そのために必要な考え方が「想像して創造する」。みんなが過ぎてしやすい空間を作るためには必要なのは「想像する力」。「こんなことを言われたらどう思うだろう。こんなことを言えば相手は喜んでくれるだろう。」と相手のことを想像する力をもつ人が増えれば、みんなが過ぎてしやすい学校を創造することができると思うのです。「想像力」と「創造力」。日常生活の中でこの二つの力が発揮できているかをみんなで意識しながら、みんなに愛される伊敷中を創っていきましょう。（中島知希）

生徒会引継式・任命式

一年間ありがとうございました

あれから一年・・・

10月23日（水）に生徒会引継式・任命式が行われました。これまで、「学校をどうしたらよりよくできるか」と常に伊敷中学校のことを考えながら、一年間走り続けてきた先輩方。学校のために活動する先輩たちの姿は私たち後輩の憧れでした。

さて、73代の生徒会役員は引継式を終え、どのような思いなのでしょうか。73代生徒会役員の3年生の皆さんに思いを聞いてみました。

A 75%
A2 一つ一つの仕事を責任をもってやり遂げることができたし、自分にできることを見つけて頑張ることができて充実した日々を送れたと思います。
A3 一年間73代生徒会へのご協力ありがとうございました。74代生徒会へのご協力＆翌檜新聞のご愛読もよろしくお願ひします。

生徒会書記 東聖真さん

A1 50%
A2 掃き目点検に遅れることが多かった。また、週行事黒板の記入を忘れることもあったことが反省点です。
A3 掃き目・朝作業には遅れずに！

Q1 一年間の達成率
Q2 その理由
Q3 全校生徒に一言

生徒会長 亀田周杜さん

A1 100%
A2 校長先生と意見を交わす機会をいただき、理想の学校像に近付けられたと思っています。
A3 生徒のみなさんが、生徒会役員へ協力してくれました。充実した毎日を送ることができました。ご協力ありがとうございました。

生徒会副会長 芹ヶ野愛梨さん



一年前のスローガン発表の様子

生徒会会計 脇園彩加さん

A1 90%
A2 ベルマークや専門部のサポートができたし、あいさつ運動を積極的に時間内に来ることができたと思います。
A3 これからも、門の掲示板を見て下さい。生徒会役員が考えて書いています！

庶務部長 吉屋里紅さん

A1 80%
A2 やるべき仕事はしっかりできたけど、自分から気付けて行動することができなかつたと思います。
A3 「環境は人をつくる」とよく言われるので、かばん棚は常にきれいな状態にしましょう。また、学年合唱も元気よく歌いましょう。

生活部長 内村翔太さん

A1 55%
A2 やり残したところがあったと感じます。
A3 一日一日後悔のないように生きよう！

美化部長 入来夏風さん

A1 90%
A2 朝作業の参加率は昨年より上がった。そして、グリーンタイムの、花も枯れる花が少なく、たくさん花を咲かせられました。しかし、最後まで掃除の四項目をしっかり守れるような取り組みができなかつたので悔いが残っています。
A3 一年間美化部へのご協力ありがとうございました。74代もよろしくお願ひします。

図書部長 田島悠太郎さん

A1 80%
A2 受け継いだ仕事をこ

なすことはできたが、新しいことにあまり挑戦できなかった。
A3 本を借りよう！

体育部長 谷口さくらさん

A1 78%
A2 ポール管理や、更衣など時間を守る目標が多かったです。その中でたくさん人の意識を変え状況を良くすることができました。
一方、なかなかルールを守ってくれない人や一部の人の意識を変えることができなかったかなと思います。
A3 これからも給食終了後15分以内の更衣やポール管理の状況を良くするために協力してください。

保健部長 宮之脇風也さん

A1 90%
A2 専門部会でも少しづつ良いものにしていった。発表も良いものができたようになつていった。
A3 第74代のみなも頑張ることをする。自分の理想は、「全校生徒のために自分ができることをする」だった。そのために学校専門部会の資料をつくらしたり、気付いたことを実践したりできたけど二着一黙を100%完璧にはできなかったと思います。

学習部長 吉住月那さん

A1 70%
A2 自分の理想は、「全校生徒のために自分ができることをする」だった。そのために学校専門部会の資料をつくらしたり、気付いたことを実践したりできたけど二着一黙を100%完璧にはできなかったと思います。

広報部長 安藤綜悟さん

A1 90%
A2 日々やるべき活動を行いつつ、その他の活動にも自主的に行えた。しかし、活動が多い分、一つ一つに全力を尽くせなかつたと思います。
A3 一年間ご協力ありがとうございました。これからも翌檜新聞のご愛読よろしくお願ひします。

引継式・任命式の様子



張っていくと思うので全員でより良い伊敷中をつくっていきましょう。

第73代のみなさん、これまで一年間ありがとうございました。

引継式・任命式の中では、第74代スローガン発表も行いました。第74代のスローガンは「We Love 伊敷」想像して創造するです。このスローガンにはみんなに愛される伊敷中にしたいという思いが込められています。みんなが大好きな、みんなに愛される伊敷中を目指して74代生徒会役員も頑張ります。全校生徒のみなさんも一人一人が生徒会の一員です。全員でよりよい伊敷中を創っていきましょう。

（堀切勇希・中村陽菜）

編集後記

今回が74代の第一号となりました。74代翌檜新聞のコンセプトは「読者の輪が広がる新聞」です。学校行事はもちろん、地域の活動やみんなが知らないような情報をたくさんお届けできるように頑張っていきます。また、みなさんが楽しめるような記事もたくさん取り入れていきます。

翌檜部員を中心に頑張っていくのでご愛読よろしくお願ひします。

（宮ノ前 那海）